



## 【身につけて欲しい7つの習慣】

### ① 提出物は必ず期限を守ろう。



提出物は提出して終わり。ではありません。提出してからが始まりです。提出物には必ず担当者がいます。担当者は全員が提出を完了しなければ、次の作業に入れません。もし自分が担当者だとしたら困ってしまいますよね。自分一人の問題ではなく、相手の時間を奪ってしまうことにもなります。提出期限（できれば3日前）までには必ず提出する習慣を身につけていきましょう。

### ② 用事があるときは朝のHRまでに伝えよう。



皆さんは毎日の始まりをどのように過ごしていますか？多くの人は朝のうちに、その日のざっくりとした日程を確認して、ほどよく予定を立てていることかと思えます。さて、相手のことを考えると朝のうちに伝えておくことでお願いされた側は予定を立てやすくなりますよね。また、書類作成や複数の分掌（学年・教務部・生徒指導部・事務部など）が絡んでくるとすぐには用意できません。急用なものでなければ、朝のうちに伝える習慣を身につけていきましょう。

### ③ 短期・中期・長期で計画を立てよう。



短期（1週間単位）・中期（1学期単位）・長期（1～2年単位）ごとに、何となくで構わないので先を見通して計画を立ててみましょう。その時に便利なものが、年間行事予定・月間行事予定やスケジュール帳・スケジュールアプリなどです。見通しや目標を立てることで、毎日の過ごし方にメリハリが出てきます。部活動・各教科の勉強・プライベートな時間など大忙しの高校生だからこそ、ざっくりと計画を立てる習慣を身につけていきましょう。

### ④ 時間と約束を大切にしよう。



やるときはやる。休むときは休む。それぞれの時間をその時々に合わせて、優先順位をつけて大切に過ごしてください。また、人との約束は些細なことでも極力守りましょう。約束を守るということは社会に出てからも重要なことです。約束を守ることは他者を大切にすることです。「すみません」ではなく「ありがとう」が行き交う高校生活にしよう。

### ⑤ 最善策・次善策・譲歩策の3つを考えよう。



最善策（自分の中で最も良い策・案・予定）、次善策（最善策が成り立たない場合に、自分の中で2番目に良いと思う策・案・予定）、譲歩策（考え得る中で、自分の中で譲歩できる策・案・予定）の3つを考えよう。世の中すべてが自分の望み通り（最善策）になることはありません。そのときの状況や情勢によっては譲歩策になることも多々あります。大切なのは譲歩策をとった後にどのような行動・改善策をとるかです。人生とは、自分にとっての最適解を探ることの連続です。3つの策を考える習慣を身につけていきましょう。

### ⑥ 知人友人・家族・自分を大切にしよう。



自分の都合だけ考えて行動しているうちは、どれだけ年齢を重ねても未熟な人であると考えます。相手は何故そのような状況・状態なのか。表面上には見えてこなくても何かしら困った事情があるのではないかと。少しで構わないのでこのような視点を持ってください。相手の立場に立って考えられる人・背景には何があるのか本質を捉えて行動を取れる人こそが成熟した人だと思います。知人友人・家族・そして自分を大切にすることを身につけていきましょう。

### ⑦ 自分の頭で考えて行動しよう。



当たり前のことですが、実は難しいことです。何かを考える時には最低限の知識が必要です。知識は多ければ多いほど物事を多面的・複合的に物事を考えることができます。また、その場の状況や条件によってどのように行動するかは変わってきます。そのときに大切になってくるのが過去の事例や先人たちの智慧です。過去の事例を知ることで我々は自身の経験がなくとも追体験することができます。中には批判的に捉える問題もありますが、そのときに意識して欲しいことがあります。それは「相手を貶めることなく、批判と同時に批判以上の改善策と責任を持つこと」です。批判をすることは誰でもできます。しかしそれでは物事は解決しません。当事者意識を持って自分ならどうするか。責任ある立場の人が判断を下した背景には何があるのか。よく考えてみてください。俯瞰して物事を見つめ、自分の頭で考えて行動する習慣を身につけていきましょう。